

第3回 高崎学検定

平成27年10月31日（土）実施



—— 問題と解説 ——

問 1

榛名山のほぼ真ん中に、中央火口丘の榛名富士があります。榛名富士の西側には、榛名山の峰の中で最も高い^{かもんがだけ}掃部ヶ岳（1,449メートル）があり、高崎市と東吾妻町との境界になっています。榛名湖は高崎市、その北側の^{えぼしがだけ}烏帽子ヶ岳（1,363メートル）は東吾妻町、東側の二ツ岳（1,343メートル）は渋川市に属します。

榛名富士の所在は、次のうちどこでしょうか。

- | | |
|-----------------|----------|
| (1) 高崎市 | (2) 東吾妻町 |
| (3) 高崎市と東吾妻町の境界 | (4) 渋川市 |

〔正解 1〕

●解説

榛名山は3個のカルデラが同心円状に造られ、その真ん中に中央火口丘の榛名富士(1,391メートル)と湖があります。榛名富士の北側は^{えぼしがだけ}烏帽子ヶ岳、東側は二ツ岳、西^{かもんがだけ}側には掃部ヶ岳、**南側**には、天目山(1,303メートル)、三ツ峰山(1,315メートル)、音羽山(1,015メートル)などがあります。

榛名富士は、高崎市庁舎から見ると、ほぼ中央から少し左に見え、積雪時になると白雪の山肌に、ロープウェイの筋が現れるので、晴れた日には確かめることができます。

問 2

次の文章のうち、空欄に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

吉井町南部にある牛伏山などで産出する砂岩は、建築石材として()石と呼ばれ活用されています。この石は鉄分を含むため黄褐色で、独特の木目調の縞模様があります。この石は、古代には、古墳の石室の材料として利用されました。近代では、内装材、外装材、石灯籠などに利用されています。

- (1) 多胡 (2) 富岡 (3) 日野 (4) 三波
〔正解 1〕

●解説

多胡石は、黄褐色の砂岩で天引石ともいわれます。鉄分がしみ出した錆状の木目調の縞模様が特徴で、和風建築に調和すると珍重されています。

多胡碑をはじめ、多胡薬師塚古墳、多胡115号墳、天引黒淵古墳群の石室など、古代から利用されていました。近代になり板石・貼石として石塀・内装材・外装材や灯籠類の建築石材に利用され、本格的な採掘は明治～大正初期の頃から始まりました。

問3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上野^{こうずけさん}三碑^びのひとつである山上^{やまのうえ}碑^ひは、【ア】年に建てられた石碑で、完全な形をした碑としては、日本最古のものです。碑文には、放光寺の僧であった長利^{ちやうり}が、母の黒壳^{くろめ}【イ】のために建てたと刻まれています。碑の傍らには、【ウ】の入口が開いている山上古墳があり、長利の母が葬られた墓と考えられます。

ア：(1) 3 8 1 (2) 6 8 1 (3) 8 8 1 (4) 9 8 1
〔正解 2〕

イ：(1) 郎女^{いらつめ} (2) 皇女^{ひめみこ} (3) 女御^{にようご} (4) 刀自^{とじ}
〔正解 4〕

ウ：(1) 横穴式石室 (2) 家形石棺 (3) 豎穴式^{たてあなしき}石室 (4) 石窟
〔正解 1〕

●解説

古代の石碑は国内に18碑しか現存していませんが、中でも山上碑は2番目に古いものです。ただし、最も古い京都府の宇治橋碑は断片となっており、全形が残っているものとしては山上碑が国内最古となります。当時最高の知識層であった僧である長利が、母の供養のために建てたもので、母が葬られたとみられる山上古墳の傍らに建っています。

問 4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名山麓に建設された【ア】は、校庭が北側、校舎が南側にあります。これは、建設の際、浅間山や榛名山二ツ岳付近の噴火などにより埋まった古墳時代～平安時代の水田などが重なる【イ】の、遺構破壊を避けたためこのような配置になりました。

- ア：（１）県立高崎北高校 （２）高崎経済大学附属高校
 （３）県立高崎女子高校 （４）県立高崎東高校

〔正解 １〕

- イ：（１）三ツ寺遺跡 （２）^{どうどう}同道遺跡
 （３）日高遺跡 （４）大八木遺跡

〔正解 ２〕

●解説

同道(どうどう)遺跡からは、浅間山と榛名山の噴火で埋まった4面の水田が発見されました。水田跡は用地北側に中心があったため、南側先端部と埋土部分に校舎等を建設し、グラウンド部分の水田跡などは調査後保存されています。学校建設と文化財が共存できた早い時期の例です。

問 5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬の森の北方1キロメートルに、芝を張って整備された大きな古墳があります。これが【ア】古墳です。未盗掘だった横穴式石室からは多量の遺物が出土し、すべてが国の重要文化財に指定されています。なかでも特筆されるのは、中国からもたらされた銅製の【イ】で、国内でも希少な資料として知られています。

ア：(1) 将軍塚 (2) 不動山 (3) 大鶴巻 (4) 観音山
〔正解 4〕

イ：(1) 水瓶すいびょう (2) 馬具 (3) 鏡 (4) 甲冑
〔正解 1〕

●解説

綿貫町の観音山古墳は、6世紀後半の東日本を代表する古墳です。絢爛けんらん豪華な多数の出土品は、一括して国重要文化財に指定されており、東アジアから海を渡ってもたらされた品々を含むことで知られています。水瓶のような中国製品のほか、朝鮮半島の新羅でつくられた馬具などの金工品が見られます。観音山古墳の主は、海の向こうの国々と交流していた可能性が考えられます。

問 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

保渡田古墳群のなかの古墳の一つに、築造当時の姿に復元された【ア】古墳があります。長さ96メートルの大きな墳丘は二重の堀に囲まれ、推定で【イ】本もの円筒埴輪^{えんとうはにわ}が立て並べられました。頂上に登って、展示室への階段を下りると、豪族が埋葬された巨大な【ウ】が、発掘されたそのままの姿で保存されています。

ア：(1) 八幡塚^{はちまんづか} (2) 薬師塚 (3) 浅間山 (4) 将軍塚
〔正解 1〕

イ：(1) 60 (2) 600 (3) 6,000 (4) 60,000
〔正解 3〕

ウ：(1) 箱式石棺 (2) 長持形石棺
(3) 家形石棺 (4) 舟形石棺
〔正解 4〕

●解説

保渡田古墳群のなかの八幡塚^{はちまんづか}古墳は、発掘調査と長年の研究を経て、造られた頃(1500年前)の姿に復元されました。当時の古墳は、表面に石を貼り付け、埴輪を大量に並べた派手な外観をしており、現在のような木々が生えた姿とはまったく異なっていました。その荘厳な様は、保渡田町・井出町の上毛野はにわの里公園でみることができます。大量の円筒埴輪の多くは、藤岡市の窯で焼かれて、ここまで運ばれました。また、巨大な石棺は、山名町の丘陵部から切り出されたと推定されています。

問 7

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

吉井町やその周辺には、奈良時代にこの地方で活躍した【ア】の生涯を伝えた伝説が広く知られています。この伝説は、類似する表現がすでに中世文書に見られますが、残る文書は近世になってからまとめられたと考えられています。

この伝説が地域一帯に伝えられているのは、この地の【イ】の碑文中に「羊」の文字があることと関わっていると考えられています。

ア：(1) ^{ひつじだゆう}羊太夫 (2) ^{はちまんたろう}八幡太郎 (3) ^{たいらのまさかど}平将門 (4) ^{みなもとのよしなか}源義仲
〔正解 1〕

イ：(1) 入野碑 (2) 多野碑 (3) 多胡碑 (4) 山名碑
〔正解 3〕

●解説

「吉井町誌」によると^{ひつじだゆう}羊太夫の伝説は、吉井町やその隣接地を舞台に活躍した7文献に記されています。その中心となるのは「羊太夫栄枯記」と見られています。内容には触れませんが、中世南北朝時代に編さんされた「神道集」中に「羊太夫足早」の記載があることから、本書では14世紀には伝説が広まり、江戸時代に入り文献として記載されたものと考えられています。

多胡碑文中に「羊」の文字があることから、その後の人々の多胡碑に対する思いや願望が地域の自然環境を取り込みストーリー化され伝承されてきたものと見られます。

伝承は、歴史的事実と想像が混在することが通例ですが、地元の人々の心に深く入り込み信仰心や郷土愛などと結びつくこともあります。

問 8

次の文章のうち、空欄に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。
() は同じ選択肢が入ります。

引間町(旧群馬町大字引間)にある日本三()の一つと称される()
寺は、東日本における() 信仰の発祥地となった寺院です。

本尊は北極星と北斗七星とを神格化した菩薩で、北辰菩薩とも呼ばれて
います。

- (1) 天王 (2) 不動 (3) 妙見 (4) 薬師

〔正解 3〕

●解説

妙見寺は、東日本における妙見信仰の発祥地となった寺院です。^{やつしろ}八代妙見
(熊本県)、^{そうま}相馬妙見(福島県)と共に「日本三妙見」(諸説あり)と伝承され、秩父
妙見や千葉妙見もここから勧請されたものだといわれています。本尊の妙見大
菩薩は北極星と北斗七星とを神格化し、北辰菩薩とも呼ばれます。国土を守り、
災いを除き、人の福寿を増すとされ、木彫の童形二臂立像で亀の上に立ち、そ
の足元に白蛇を配した姿で表されます。

問 9

次の文章のうち、空欄に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

上野国には、延喜式に記載のある神社（式内社）が12社あり、これらを総称して上野国十二社と呼びます。このうち一宮は富岡市の貫前神社ですが、高崎市内には六宮の榛名神社（榛名山町）のほか、七宮の（ ）があります。

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 小祝神社（石原町） | (2) 倉賀野神社（倉賀野町） |
| (3) 進雄神社（柴崎町） | (4) 烏子稻荷神社（上小墻町） |

〔正解 1〕

●解説

式内社とは、『延喜式』第9巻・第10巻「神名帳上下」（延喜式神名帳）に記載のある神社をいい、上野国には次の12社がありました。

一宮 貫前神社（富岡市）、二宮 赤城神社（前橋市）、三宮 伊香保神社（渋川市）、四宮 甲波宿禰神社（渋川市）、五宮 大國神社（伊勢崎市）、六宮 榛名神社（高崎市）、七宮 小祝神社（高崎市）、八宮 火雷神社（佐波郡玉村町）、九宮 倭文神社（伊勢崎市）、十宮 美和神社（桐生市）、十一宮 賀茂神社（桐生市）、十二宮 宇芸神社（富岡市）

小祝神社の創建年代は不詳ですが、『三代実録』の880（元慶4）年5月25日の条に「正五位上」に昇叙されたとあることから、奈良時代には鎮座していたと考えられています。現在の本殿は、高崎藩主間部詮房が正徳、享保年間に再建したもので、高崎市における最古の神社本殿建築としてたいへん貴重なものです。また、本殿の建造年代にかかわる資料として、享保元年の棟札、享保2年の奉納額、享保4年の寄進銘が、本殿と共に、それぞれ高崎市指定重要文化財に指定されています。

問 10

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

武士が政治の中心となった中世は、戦いで生死に関わる多くの地方武士にも仏教を信仰し、板碑などの石造供養塔を建立して先祖を供養し、自身や一族の「現世の無事」や死後の「極楽往生」を願う信仰が広がりました。

代表的な板碑は、埼玉県荒川流域の板状にはげる【ア】を使用した「武蔵型板碑」と呼ばれるもので、国内各地に影響を与えました。高崎市内では、県内最古の【イ】の「康元の板碑」が妙典寺（小八木町）にあります。

ア：（１）凝灰岩（２）砂岩（３）花崗岩（４）緑泥片岩
〔正解 ４〕

イ：（１）１０５７年（平安時代）（２）１２５７年（鎌倉時代）
（３）１４５７年（室町時代）（４）１６５７年（江戸時代）
〔正解 ２〕

●解説

中世は、中央武士だけでなく、その配下に組み込まれた地方武士や一族郎党も戦に参加する機会が多くありました。人の生死に直接関わるこの武士の間には、仏教信仰が次第に深く浸透し、先祖供養のための仏像や供養塔建立を通して、自身や一族の「現世安穩」・「極楽往生」を願う信仰が広がりました。

高崎地域は、多様な石材が得られる場所で、あつたことから、鎌倉時代～南北朝時代には、観音山丘陵の凝灰岩、吉井～藤岡南に連なる牛伏砂岩、利根川に流れ出た榛名山軽石石材を使用して石造仏が建立されています。

また、建立者が広がるにつれて、室町時代から戦国時代には榛名山麓の安山岩や浅間山・榛名山から利根川に流れ出た軽石（多孔質安山岩）や吉井の牛伏砂岩を使用して、小型五輪塔等の供養塔が大量に造られています。

問 11

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

箕輪城は、中世西上州の軍事拠点として、かつては多くの戦国武将たちの攻防の舞台となりました。そのうち織田信長が支配した時代には、有力な家臣である【ア】が入城しました。やがて箕輪城から厩橋城に入った【ア】は、信長が本能寺の変で倒されたという報を受けて本国に引き上げました。この際、攻め寄せる後北条氏の軍勢と戦いましたが、この大規模な戦いを【イ】合戦と呼びます。今でも関連する伝承が、戦場となった高崎市新町から埼玉県上里町にかけて残されています。

ア：(1) ^{はしばひでよし}羽柴秀吉 (2) ^{しばたかついえ}柴田勝家 (3) ^{たきがわかずます}滝川一益 (4) ^{あけちみつひで}明智光秀
〔正解 3〕

イ：(1) 井野川 (2) 烏川 (3) ^{かぶらかわ}鎭川 (4) ^{かんながわ}神流川
〔正解 4〕

●解説

箕輪城は、長野氏―武田氏―織田氏―後北条氏―徳川氏と支配者が変わりますが、武田氏を滅ぼした織田信長が北関東に配置したのが名将として知られる滝川一益でした。一益は信長の死後、神流川合戦で敗北して、本国に帰還しました。このため、信長の後継者を決める「清洲会議」に間に合わず、会議を仕切った豊臣秀吉の台頭を許します。以後、一益の勢力は衰退していきました。

問 12

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

井伊直政は、【 ア 】年に、居城を箕輪から和田と呼ばれていた地へ移した際に、地名について箕輪の龍門寺住職^{はくあん}白菴に相談し「高崎」と改名したという伝承があります（他説もあります）。そして、白菴を開山として城の南に【 イ 】を開基し、山号「高崎山」を与えました。

ア：(1) 1593 (2) 1598 (3) 1600 (4) 1603

〔正解 2〕

イ：(1) ^{こうみょうじ}光明寺 (2) ^{じげんじ}慈眼寺 (3) ^{ほうりんじ}法輪寺 (4) ^{りゅうこうじ}龍広寺

〔正解 4〕

●解説

1598(慶長3)年に井伊直政は、箕輪城の後継地として和田城址を取り込むような形で新たな城を築きました。その際に直政はこの地を「松が崎」と改めようと思ひ、箕輪に開基した龍門寺住職の白菴に相談しました。白菴は「諸木には栄枯がある。殿様は権力の頂点に立った大名に出世したのだから、『成功高大』の意味を採って高崎と名付けるのがよいでしょう」と話し、直政は和田を高崎と改めました。白菴が転住した高崎城に隣接する龍広寺の山号に「高崎」を与えました。

問 13

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎城は、烏川の断崖を背にして梯子段状に本丸、二ノ丸、三ノ丸を設け、それぞれを堀と土塁で囲む構造でした。土塁上には一般的に天守閣と呼ばれるものはなく【ア】が天守に相当し、その他に【イ】の櫓がありました。

ア：(1) 乾 櫓 いぬいやぐら (2) 御三階 櫓 ごさんかいやぐら (3) 多聞 櫓 たもんやぐら (4) 富士見 櫓 ふじみやぐら
〔正解 2〕

イ：(1) 四つ (2) 五つ (3) 六つ (4) 七つ
〔正解 1〕

●解説

高崎城の構造様式は、烏川とその断崖を後背の要害として、本丸、二ノ丸、三ノ丸を梯子段状に設けた梯郭式平城で、各郭を堀と土塁で囲んでいます。本丸の土塁の上には天守に相当する三階櫓を設け、そこから時計回りに武器庫である乾 櫓 いぬい、艮 櫓 うしとら、巽 櫓 たつみ、坤 櫓 ひつじさるを設け、その間は土堀で繋がられていました。

問 14

次の文章のうち、空欄に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。
() は同じ選択肢が入ります。

吉井町神保にある()の神社名は、多胡郡の建郡に際して甘良郡(甘楽郡)から分割された郷名に由来しています。()は、多胡郡の総鎮守です。

- (1) 辛科神社^{からしなじんじゃ} (2) 住吉神社^{すみよしじんじゃ} (3) 浅間神社^{せんげんじんじゃ} (4) 熊野神社^{くまのじんじゃ}

〔正解 1〕

●解説

「辛科^{からしな}」は、多胡郡の建郡に際して甘良郡から分割された韓級^{からしな}(辛科)郷の郷名を今に伝えています。この地方の鎮守である辛科神社には、鎌倉時代初期に渡来人の子孫である^{これむね}惟宗氏^{これむね}他が奉納した「文殊七尊鏡像」の懸仏があります。本殿は1661(寛文元)年に再建され、当初は春日造でしたが幕末に屋根が流造に改築されています。拝殿は1730(享保15)年、随神門は1797(寛政9)年に建立されました。

問 15

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

伊豆下田出身の下田氏は、箕輪城主長野氏の家老四家の一人として、長野氏に仕えていましたが、長野氏滅亡後も箕輪城下にとどまりました。

1682（天和2）年に安房勝山藩の酒井大和守忠国が西明屋、本郷、上高浜、和田山、白川など7か村を領地とし、【ア】に陣屋を構え、下田氏を代官に任命し、支配させました。下田邸は母屋、蔵、酒蔵、書院、長屋門などを構えていましたが、そのうち数寄屋風の意匠をこらした【イ】と、蔵、庭園が現存し、県指定重要文化財になっています。

ア：（1）上高浜 （2）白川 （3）和田山 （4）本郷
〔正解 2〕

イ：（1）母屋 （2）酒蔵 （3）書院 （4）長屋門
〔正解 3〕

●解説

箕郷町西明屋にある旧下田邸は、現在の高崎市箕郷支所の敷地を含む3町歩に及び、母屋、書院、蔵、酒蔵、長屋門などを構えていました。現在は、そのうち書院、蔵と庭園が現存し、県指定重要文化財に指定されています。

書院は数寄屋風の意匠をこらした江戸時代初期の様式を残し、特に欄間の葡萄と栗鼠の透かし彫りは瀟洒です。葡萄は多産・豊穰を、栗鼠は子孫繁栄を意味する縁起のよい吉祥文様として好まれ、江戸時代に急速に広まりました。

庭園は、堀部安兵衛の作庭ともいわれています。

問 16

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

泰平の世が続いた江戸期には、商品経済の発達により算学習得の需要が増し、最上流、【 ア 】流などのいわゆる和算の流派が生まれました。

また、江戸後期の西毛地域には、【 ア 】流の流れをくむ板鼻宿（安中市）の小野栄重や、板井村（玉村町）の齋藤宜義などが活躍します。農民出身の栄重や宜義には、高崎藩士も学んでおり、身分を越えた学問上の師弟関係があったようです。

宜義の門人としては、日本三老農の一人である原之郷村（前橋市）の船津伝次平や、剣術家としても知られる下里見村（高崎市下里見町）の【イ】がいますが、【イ】の研究は、算学書や八幡八幡宮（高崎市八幡町）の奉納算額などで知ることができます。

ア：(1) 金春こんばる (2) 小笠原 (3) 円理えんり (4) 関

〔正解 4〕

イ：(1) 坂本亮春 (2) 中曽根宗郁
(3) 田口信武 (4) 神保親道 [正解 2]

●解説

算学(和算)は読み書きそろばんといった初等教育での学びはもちろん、幾何学など高等数学に至るものもありました。算額はその研究発表の資料といえます。

なお小野栄重は伊能忠敬の全国測量に協力しました。そのほか幕末維新期の算学者たちは、明治初期の地租改正の際に各地域の測量で新政府に協力し、大きな役割を果たしています。

また上州は、絹生産の隆盛によって多くの農民が農業のかたわら養蚕・製糸に関わりました。これには蚕の生育など科学的な見地や、養種の購入や絹商人との交渉、そして市場の動向など経済人としての考え方も必要だったと思われ、算学が庶民に広く学ばれた背景とも考えられます。

問 17

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸にも道場を開いた【ア】は、上州を代表する剣術流派として知られています。【ア】の門人の動きを知る事件として「伊香保奉額騒動（伊香保の額論）」があります。これは、1823（文政6）年に北辰一刀流の創始者である千葉周作が、【ア】の勢力下で多くの人々が集まる伊香保に一門の額を奉納して、その勢力を誇示しようとしたものです。この時に千葉に助力したのが、【イ】の佐鳥浦八郎（引間村農民）でした。結果的に奉額は多くの【ア】門人によって阻止されました。なお、佐鳥は【イ】を採用した高崎藩の剣術指南役となりました。

- ア：（１）神道無念流 （２）示現流
 （３）鹿島新当流 （４）馬庭念流

〔正解 ４〕

- イ：（１）宝生流 （２）兵法二天一流
 （３）小野派一刀流 （４）天然理心流

〔正解 ３〕

●解説

豊臣秀吉による「刀狩り」によっても、全国に完全な武装解除は実施されず、農民は護身用など様々な理由を付けて刀を所持し続けました。そこで江戸幕府は、庶民の刀や脇差の長さ、鞘の色、鐔の形などの外見を規制します。つまり武士が許された「帯刀」（大小2本差し）と、庶民の1本差し（脇差し）を区別したのです。それは刀の所有ではなく、外見での身分統制といえるでしょう。また庶民の刀の所持は、旅先での護身用など制限がありました。

一方で、幕末の世情不安により、剣術が武士はもちろん、農民たちにも身を守る手段として広く習われました。更に、下級武士や庶民の「立身出世」の欲求も、剣術が盛んとなった理由の一つと考えられます。

問 18

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎を城下町、あるいは交通の要としてのみならず、商業の町として発展させる原動力になったのが、【ア】が三町に設定した【イ】です。

その後、高崎田町に絹の売買を独占する特権を与え、絹取引が盛んになると、「上州持ち下り商人」として知られる【ウ】商人の上州進出が目立つようになりました。

ア：(1) 安藤重博^{あんどうしげひろ} (2) 酒井家次^{さかいいえつぐ} (3) 松平輝貞^{まつだいらてるさだ} (4) 間部詮房^{まなべあきふさ}

〔正解 1〕

イ：(1) 永代売買令 (2) 問屋株 (3) 六斎市 (4) 割符制度

〔正解 3〕

ウ：(1) 伊勢 (2) 近江 (3) 尾張 (4) 三河

〔正解 2〕

●解説

1675(延宝3)年に高崎藩主安藤重博は、城下の繁栄を願って本町、田町、新町(現あら町)の三町に市日を設定しました。月に六日ずつ開催される六斎市で、商業の町として発展する原動力となりました。1690(元禄3)年には、田町に絹の売買を独占する特権を与え、**他**の町における絹取引を禁止したため、田町を中心に商業都市として一段と賑わいました。そのため諸国の商人が注目する市場となり、特に近江国(滋賀県)の日野や八幡出身の商人の進出が目立ってきました。

問 19

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎宿は、公用の旅人や荷物を継ぎ立てる問屋場が置かれ、交代制で担当していました。幕末になると【ア】はこの経費負担が重くなり、高崎藩にいくつかの助成改善策を願い出ましたが回答が得られず、幕府への箱訴などの行動に出ました。1866（慶応2）年に幕府の裁定が下り処分者が出ました。この騒動は【イ】と呼ばれます。

ア：（１）新町（現あら町） （２）田町 （３）本町 （４）八島町
〔正解 １〕

イ：（１）^{ごてんまじけん}御伝馬事件 （２）^{とんやばじけん}問屋場事件
（３）^{しゅくばすけごう}宿場助郷事件 （４）御用通行事件

〔正解 １〕

●解説

高崎三伝馬のうち新町（現あら町）は、町内経理が窮迫していたうえに1862（文久2）年に起きた大火事で町内が全焼し、伝馬の運営に窮していました。収入を得るため宿場助成として旅籠への飯盛女の設置や、角力や旅芝居の興行を藩に願い出たが決まらず幕府への訴えとなりました。最後の請願を決行する前に、同情した高崎城下の他町の有力商人が助成金を援助し、伝馬業務を継続することができました。騒動は治まりましたが、幕府への箱訴に及んだことなどから居町払いや過料銭などの処分がされました。

問 20

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1869（明治2）年に起こった「五万石騒動」は、高崎藩領内（飛び領を除く）の農民が、高崎藩や【ア】、明治政府などに農民側の要求を文書で交渉した、いわゆる百姓一揆でした。

騒動の背景には、領内村々の年貢率に差があったことなど税制の問題や伝馬など農民の負担の多さがありました。そして、天候不順による凶作や【ア】の【イ】による目安箱設置などが発端となり、農民は行動を起こしたと考えられています。

農民側は各村から【ウ】数人を代表として選び、さらに3人の「大【ウ】」を全体の指導者として選出しました。五万石騒動は、百姓一揆としては異例の約1年半という長期間にわたって計画的に活動が実行され、高崎藩から一部の譲歩を引き出しますが、3人の指導者は捕縛・斬首され、騒動終結後は多くの農民が処罰されました。

ア：（1）岩鼻代官所 （2）吉井藩 （3）岩鼻県 （4）熊谷県
〔正解 3〕

イ：（1）こむろしのぶ 小室信夫 しんだゆう（信大夫） （2）おおこうちてるな 大河内輝声
 かとりもとひこ（3）楫取素彦 やじまはちろう（4）矢島八郎

〔正解 1〕

ウ：（1）名主(庄屋) （2）百姓代 （3）総(惣)代 （4）氏子
〔正解 3〕

●解説

五万石騒動は、いわゆる「世直し一揆」における「打ちこわし」のような行為を含まない百姓一揆です。農民側は高崎藩や周辺の諸藩、明治政府と交渉し、騒動は約2年弱にわたって継続されました。

騒動の背景や発端には様々な説がありますが、背景は主に領内村々（古領と新領）の年貢率に差があったこと（延口米など付加税）、畑方年貢の米納、伝馬など農民の課役の多さなどがあったようです。また発端については、連年の凶作や小室信夫による目安箱設置などがあげられています。

農民側は各村から惣（総）代数人を代表として選び、更に3人の大惣（総）代、高井喜三郎・佐藤三喜蔵（^{みき の すけ}造酒之介、^{みきぞう}造酒蔵）・小島文次（治）郎を全体の指導者として選出しました。3人の指導者は捕縛・斬首されてしまいますが、「義人」として祀られた碑（墓）は、今でも地元で大切にされています。

問 21

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1861（文久元）年に、公武合体のために孝明天皇の妹【ア】と第14代将軍徳川家茂との婚儀が整い、3万人近い大行列を従えて10月20日に京都を出発し、中山道を通って江戸へ向かいました。11月9日に坂本宿、10日に板鼻宿に宿泊し、高崎、倉賀野、新町を通過して本庄宿に宿泊してから、15日に江戸へ到着しました。

大行列の継送に近隣の村々へ助郷が命じられ、すべての行列が通過し終わるまでに延べ5万1,705人、馬1,731頭が動員されました。

【ア】の大行列が板鼻宿を出て、高崎、倉賀野、新町を通過するのに、【イ】かかりました。

ア：（1）篤姫（2）お江（3）和宮（4）千姫
〔正解 3〕

イ：（1）1日間（2）4日間（3）8日間（4）10日間
〔正解 2〕

●解説

和宮親子内親王の江戸への下向は、中山道始まって以来の大行列でした。和宮は、11月9日に坂本宿、10日に板鼻宿に宿泊し、11日には高崎・倉賀野宿を通行し、倉賀野宿が昼休地となりました。

大行列の継立は、板鼻宿から本庄宿までの四か宿（板鼻・高崎・倉賀野・新町宿）による合宿で行われ、行列の先頭が8日に到着して最後尾が通過し終わるまでに、4日間を要しました。

問 22

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

倉賀野宿の東で中山道と【ア】が分れる分岐点に、道しるべと【イ】が建てられています。宿の西には江戸から26里の一里塚がありましたが、道路事情などから壊されてしまいました。高崎城下九蔵町にあったと伝えられる27里の一里塚も残っていませんが、28里の一里塚は現在も【ウ】に残り、県指定史跡になっています。

ア：(1) 十石街道 (2) 玉村道 (3) 日光例幣使道 (4) 三国街道
〔正解 3〕

イ：(1) 常夜灯 (2) 道祖神 (3) 八衢神 (4) 地藏堂
〔正解 1〕

ウ：(1) 上豊岡町 (2) 北久保町 (3) 藤塚町 (4) 八幡町
〔正解 1〕

●解説

江戸時代に高崎を通過する主な街道に中山道、三国街道、日光例幣使道があり、例幣使道は倉賀野宿の東端で分れました。道路の分去れには道祖神や八衢神などが設けられますが、ここには常夜灯と道しるべが設けられ現在も残っています。また、江戸幕府は主要街道の両側に江戸からの距離の目安として一里塚を築きました。上豊岡に南側分として築かれた一里塚が残っていますが、藤塚に北側分として築かれた一里塚は、道路事情などから壊されてしまい、現存していません。

問 23

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1878（明治11）年に郡区町村編制法が制定され、県と町村との中間地方行政体としての郡が成立しました。大きな郡は分離して【ア】郡や南勢多郡、北甘楽郡などが成立し、それまで県内にあった14郡が17郡に増加しました。小さな片岡郡は、大きな【ア】郡と連合するなどして、県内に11の郡役所が置かれました。

群馬県は、1896（明治29）年に郡制を施行し、【ア】郡・片岡郡を合併して群馬郡に、緑野郡・【イ】郡・南甘楽郡を合併して多野郡にするなど11郡が成立しました。郡には郡長・郡書記・郡視学などの職員を常置し、住民の意思を代表する郡会を置きました。また、郡道、郡立学校や農事試験場設置などの独自事業を行いました。

ア：（1）碓氷 （2）吾妻 （3）多胡 （4）西群馬
〔正解 4〕

イ：（1）碓氷 （2）吾妻 （3）多胡 （4）西群馬
〔正解 3〕

●解説

現在の高崎市域の町村の多くは、群馬郡→西群馬郡→群馬郡に所属していましたが、町屋村、下大島村、金井淵村、若田村、劔崎村、八幡村、藤塚村、鼻高村、豊岡村および旧倉渕村の川浦村、水沼村、旧榛名町の上里見村、中里見村、下里見村、上大島村が碓氷郡、根小屋村、山名村、木部村、阿久津村は緑野郡、石原村、乗附村、寺尾村が片岡郡に所属していた時期があります。

旧吉井町の多くの村々は多胡郡→多野郡に属しましたが、岩崎村、奥平村、坂口村は甘楽郡→北甘楽郡→甘楽郡、旧新町の笛木村（→笛木新田→笛木新町）、落合新町は緑野郡→多野郡に所属していました。

1923（大正12）年に郡制廃止、1926（同15）年に郡役所が廃止され、中間地方行政体としての郡はなくなり、地名として残りましたが、平成の大合併により群馬郡や碓氷郡などがなくなりました。

問 24

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

大規模な市町村合併は、明治、昭和、平成と3回にわたり実施されました。現在の高崎市域では江戸時代初期には115の村がありました。1889（明治22）年に33町村、1965（昭和40）年に7市町村、2009（平成21）年にすべて高崎市に合併しました。次の町村のうち高崎市ともっとも早く合併したのは【ア】、最後に合併したのは【イ】です。

ア：（1）倉渕村 （2）群南村 （3）長野村 （4）吉井町
〔正解 3〕

イ：（1）倉渕村 （2）群南村 （3）長野村 （4）吉井町
〔正解 4〕

●解説

高崎市は1900（明治33）年に市制施行以後、数回の合併を経て市域を拡大してきました。昭和の大合併と言われた1955（昭和30）年1月には、新高尾村の一部、中川村、碓氷郡八幡村、8月に群馬郡長野村を合併しました。1965（昭和40）年9月には、群南村を合併し、これが昭和の最後の合併となりました。

平成に入り、2006（平成18）年1月に倉渕村・箕郷町・群馬町・新町を、10月に榛名町を合併しました。2009（平成21）年6月に吉井町を合併し、現在に至っています。

問 25

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1956（昭和31）年9月に、群馬郡京ヶ島村と【ア】が合併して群南村が成立しました。群南村は昭和の最後の合併となる1965（昭和40）年9月に高崎市へ編入し、10年間という短期間で消滅しました。この地域には真言宗寺院の【イ】があり、足利尊氏の命により植えられたというしだれ桜は、花見でにぎわいます。境内には、代官堀開削に尽力した江原源左衛門重久の墓があります。

昭和の合併で高崎市に編入された町村役場庁舎がほとんど消滅している中で、【イ】の近くにある旧群南村役場の建物は、高崎市【ウ】として活用されています。

ア：（1）岩鼻村 （2）大類村 （3）倉賀野町 （4）滝川村
〔正解 4〕

イ：（1）九品寺 （2）慈眼寺 （3）長泉寺 （4）養報寺
〔正解 2〕

ウ：（1）滝川公民館 （2）滝川小学校
 （3）美術館 （4）歴史民俗資料館
〔正解 4〕

●解説

1956(昭和31)年9月に、群馬郡京ヶ島村と滝川村が合併して群南村が成立し、市域では昭和の最後の合併になる1965(昭和40)年9月に高崎市へ編入し、**群南村は**10年間という短期間で消滅しました。

同村大字下滝(現下滝町)にある慈眼寺は、真言宗の寺院で東大寺初代別当良弁が開創。弘法大師空海が護摩修行をしたという炉石が、大師堂西に現存しています。有名なしだれ桜は、足利尊氏の命により植えられたと言われています。

1978(昭和53)年10月に、旧群南村役場の建物を利用して高崎市歴史民俗資料館が開館し、農具・民具の道具、学校の風景、懐かしい道具たちの常設展示を行っています。

問 26

次の文章のうち、空欄に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。
() は同じ選択肢が入ります。

新高尾村は新保村、新保田中村、日高村、中尾村、() 村が合併して
成立しましたが、新高尾村が高崎市に編入されたときに、大字中尾の一部
と大字() が前橋市に編入されました。

- (1) 江田 (2) 小八木 (3) 鳥羽 (4) 古市

〔正解 3〕

●解説

新高尾村は新保村、新保田中村、日高村、中尾村、鳥羽村が合併して、
1889(明治22)年4月に成立しました。1955(昭和30)年1月に大字新保、大字
新保田中、大字日高、大字中尾の一部が高崎市へ編入され、大字中尾の一部
と大字鳥羽が前橋市へ編入されました。

問 27

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1877（明治10）年に【ア】として設置された新町屑糸紡績所は、2015（平成27）年に、重要文化財、史跡に指定されました。新町が選ばれたのは、養蚕が盛んで原料確保が容易であったことと、水車の動力を利用するために高低差のある【イ】の存在が大でした。

- ア：（１）民営模範工場 （２）官営模範工場
 （３）株式会社 （４）有限会社

〔正解 2〕

- イ：（１）鐺川 （２）神流川 （３）利根川 （４）温井川

〔正解 4〕

●解説

1873(明治6)年、ウィーン万国博覧会に参加した佐々木長淳は、ヨーロッパでの養蚕製糸技術や絹糸事業、屑糸紡績業を調査し、帰国直後、屑糸絹糸紡績所設立を建白し、大久保利通内務卿がそれを受け入れて設立が決定されました。紡績所の建設地として、水面落差が3.6メートルある温井川が動力用水車を回すのに適していたため、新町が選定され、初代所長に佐々木が任命されました。

2015(平成27)年6月に旧新町紡績所の名称で史跡指定され、7月に重要文化財(建造物)に指定されました。希少な木造の工場建築がほぼ完全な規模で残り、明治初期の建築技術をよく示しており、高い歴史的価値があります。また、明治期の絹糸紡績工場唯一の遺構であり、絹糸紡績業の発展の過程を示すものとして、高い学術的価値が認められます。

問 28

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

田町の絹市場は、高崎の有力な実業家が出入りして交流の場となっていました。1890（明治23）年に商業会議所が法制化されると、高崎商業会議所創立の機運が高まり、1895（明治28）年3月に絹市場で創立協議会が開催され、同年11月に群馬県内初の商業会議所が創立されました。

初代会頭に選ばれたのは上州絹の豪商「福田屋」の【ア】で、【ア】の家は、1893（明治26）年に明治天皇が行幸されたときに行在所となりました。

1893（明治26）年、難工事の末に開通した信越線により、群馬と同様に蚕糸業が盛んであった長野県との貨物輸送が著しく増大しましたが、横川・軽井沢間の鉄道が【イ】であったために輸送量が制約を受け、貨物の渋滞が深刻な問題となってきました。【イ】を前提とした対策を高崎商業会議所が中心となって策定し、長野県側や東京商業会議所と力を合わせて逓信省に陳情した結果、1898（明治31）年、【ウ】が図られました。

ア：(1) やまだしょうきち 山田 昌 吉 (2) もぎそうべえ 茂木惣兵衛
(3) なかじまいへい 中島伊平 (4) いのうえやすさぶろう 井上保三郎 [正解 3]

イ：(1) アプト式 (2) スイッチバック式
(3) ループ式 (4) 鋼索（ケーブル）式 [正解 1]

ウ：(1) 横川・軽井沢間の電化
(2) 高崎・軽井沢間の複線化
(3) 貨物列車の増発や生糸専用列車の運行
(4) 高崎操車場の設置

[正解 3]

●解説

高崎商業会議所は全国の地方都市では早い時期の創立であり、後の法改正で高崎商工会議所と改称しました。戦時下で一度解散しましたが、高崎の実業界は、戦後の商工会議所再建運動を牽引しました。今年創立120周年を迎え、高崎の産業発展に貢献しています。

初代会頭の中島伊平は、福田屋の五代目として養子に入り、30歳の若さで就任しました。福田屋は幕末に初代中島伊平が創業し、西上州の絹織物を一手に握ったと言われています。

当時、日本で最も急こう配だった横川・軽井沢間の鉄道は難工事でアプト式の導入により開通しました。アプト式は左右のレールの間に歯車のレールを敷設し、機関車の歯車と噛みあわせて運行させる方式で、輸送量が制約を受けました。

そこで、高崎商業会議所が中心となって陳情し、逓信省は、増発貨車や生糸専用列車を検討しました。信越線によって、長野県と首都圏の直接取引が増え、高崎の中継ぎ業に大きな打撃を与えましたが、横川・軽井沢間の貨物渋滞は長野県蚕糸業の死活問題となっていたため、交通の要衝にある会議所として上信地域の発展のため、誠実な対応をとったと考えられます。(高崎商工会議所100年史)

トンネルの多い信越線は、煙で機関手が窒息してしまうことから1912(明治45)年、横川・軽井沢間が幹線鉄道として日本で初めて電化されました。信越線の本格的な電化、複線化は、1960(昭和35)年以降となり、アプト式は1963(昭和38)年に廃止されました。

問 29

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1897（明治30）年に、高崎・下仁田間に【ア】鉄道と呼ばれた「軽便鉄道」が開通し、鐺川流域の【イ】、材木、薪炭、石灰、鉄鋼石、石材などを、「日本鉄道」高崎駅を經由して首都圏などに搬送し始めました。

大正時代になると、「日本鉄道」への荷物積み替え時間の改善や速度のアップのために、同じ軌道幅への改修、機関車の電化の必要性が高まりました。この改修には、第1次世界大戦の敗戦国【ウ】からの賠償として日本に譲渡された鉄道機材・設備も多数使用されました。

また、上州下仁田駅から信州（長野県）佐久鉄道（現小海線）羽黒下駅を結び、輸送物の増加が計画され、1921（大正10）年に社名を「上信電気鉄道」に改称しました。しかし、この延伸の計画は、世界恐慌やその後の社会情勢から中断し、今日でも下仁田が終着駅となっています。

なお、「上信電気鉄道」の社名は、1964年（昭和39）に「上信電鉄」と改称されています。

2014（平成26）年には、南高崎駅と根小屋駅間に新たに【エ】駅が開設されました。

ア：（1）高崎 （2）富岡 （3）下仁田 （4）上野
〔正解 4〕

イ：（1）硫黄 （2）綿花 （3）生糸 （4）米
〔正解 3〕

ウ：（1）イタリア （2）ドイツ （3）イギリス （4）アメリカ
〔正解 2〕

エ：（1）佐野のわたし （2）根小屋
 （3）高崎商科大学前 （4）山名 〔正解 1〕

●解説

明治時代、東京や地方主要都市を中心に近代化が進み、地方資源の必要性が高まりました。

^{こうずけてつどう}上野鉄道は、1893(明治26)年、国に出願し、翌年仮免状が交付され、1897(明治30)年に高崎駅～下仁田駅間が全通しました。これにより既に開通していた「日本鉄道(高崎線)」を經由して首都圏の必需品を輸送することが可能になりました。

現存する日本の地方民鉄路線のなかでは、伊予鉄道について二番目に早く開業したことになっています。

設立には高崎や沿線地元資本に加え、富岡製糸場を経営していた三井家の資本も関わっていました。

大正から昭和初期には、輸送量を増加し時間を短縮するために軌道幅や電化の難事業に取り組み、上州下仁田から余地峠を越えて信州(長野県)佐久鉄道(現小海線)に結ぶ計画を立て、社名を「上信電気鉄道」に改称しましたが、その後の社会情勢により今日まで下仁田駅が終着駅になっています。

問 30

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

人々の生活に欠かせない灯火は、江戸時代には多くの家で行灯^{あんどん}が使われていましたが、文明開化の時代になると【ア】が使われました。明治時代の後半になると水力発電所が稼動し、電気が使われるようになりました。

高崎では1903（明治36）年、高崎水力電気株式会社がつくられ、翌年、烏川の水力を利用した【イ】発電所が完成しました。この発電所は烏川の水流を利用した【ウ】発電所でした。出力はそれほど大きくはありませんでした。

高崎に電灯^{とも}が灯ることになったのです。家々の光源^{こうげん}は電球でした。現代の光源に比べると、あまり明るくなかったのですが、以前より便利な生活を送ることができるようになりました。

この発電所は、現在も東京電力の発電所として発電を続けています。

ア：（１）篝火^{かがりび} （２）ろうそく （３）石油ランプ （４）松明^{たいまつ}
〔正解 ３〕

イ：（１）室田 （２）霧積 （３）岩本 （４）剣崎
〔正解 １〕

ウ：（１）ダム式 （２）揚水式 （３）ループ式 （４）水路式
〔正解 ４〕

●解説

高崎水力電気株式会社は、烏川を利用して室田発電所をつくりました。300キロワットの発電機が据え付けられ、水圧鉄管は小島鉄工所の製品を使うなど、国産品使用を重視していました。ここで発電された電気は、当時の高崎市内に約2400灯の電灯^{とも}を灯しました。大正時代になると、供給地域は渋川、玉村、藤岡、埼玉県地域にまで広がりました。家庭用の電灯^{しょうくこう}は10燭光(12ワット)が大部分で、16燭光(19ワット)、25燭光(30ワット)もありました。動力用の電力は、当初わずかでしたが次第に増えていきました。

問 31

1871（明治4）年の廃藩置県の際、吉井県は成立しませんでした。その理由として正しいものは、次のどれでしょうか。

- （1）吉井藩は、廃藩置県の前に岩鼻県に編入しました。
- （2）吉井藩は、明治政府によって、とりつぶされました。
- （3）吉井藩は、強力な幕府方であったので、明治政府は吉井県を認めませんでした。
- （4）吉井藩は石高が少なかったため、吉井県は成立しませんでした。

〔正解 1〕

●解説

吉井藩の最後の藩主家となったのは鷹司^{たかつかさ}松平家です。この家は五摂家^{ごせつげ}の一つ鷹司家から分かれた家でした。1万石の小藩でしたが、待遇は高く、国主格、もしくは御三家と同様でした。10代目の藩主^{のぶのり}信謹は、1869（明治2）年の版籍奉還のとき、上野の諸藩に先駆けておこない、知藩事^{ちはんじ}となりました。同年12月25日、信謹は知藩事を辞職し、翌日、吉井藩は岩鼻県に編入しました。

問 32

下記の県の白地図について、正しく名称が表示されているグループはどれでしょうか。

ア:



1876(明治9)年8月21日～現在

イ:



1873(明治6)年6月15日
～1876(明治9)年8月20日

ウ:



1871(明治4)年10月
24日～27日

- | | | |
|--------------------|----------|----------------|
| (1) ア 第二次群馬県 | イ 第一次群馬県 | ウ 高崎県原案(幻の高崎県) |
| (2) ア 第一次群馬県 | イ 熊谷県 | ウ 第二次群馬県 |
| (3) ア 第二次群馬県 | イ 熊谷県 | ウ 高崎県原案(幻の高崎県) |
| (4) ア 高崎県原案(幻の高崎県) | イ 熊谷県 | ウ 上野県 |

〔正解 3〕

●解説

群馬県という県名が決まる前、県名の原案は「高崎県」でした。1871(明治4)年、上野国内に「高崎県」をつくるという太政官の布告案が作成されました。廃藩置県によってできた前橋県・高崎県・沼田県・安中県・伊勢崎県・小幡県・七日市県と岩鼻県を廃して、そこに新しく「高崎県」をつくるという案でした。(館林県は含まれない)

しかし、三日後の10月27日、「高崎県」をつくるという布告案は、「群馬県」にしたいということに変更されました。「云々ノ情実^{しかじか}」もあるからというのがその理由でした。「云々ノ情実^{しかじか}」とはどのようなことかは、明らかではありません。明治政府の方針や、いろいろな地域事情を考えてのことであろうと思われます。

10月28日、群馬県(第一次群馬県)が成立し、「幻の高崎県」となりました。ご存知のように、10月28日が県民の日となっています。

1873(明治6)年6月15日、第一次群馬県は入間県と合併し、熊谷県ができました。

1876(明治9)年8月21日、第二次群馬県ができ、現在に至っています。

問 33

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

第二次群馬県ができたとき、県庁は高崎に置かれることになりました。県庁舎として最適な旧高崎城は【 ア 】が使っていました。そこで、やむを得ず、安国寺を仮庁とし、中学本部からすかわがっこう鳥川学校や龍広寺など数か所に分散して、県政を行うことになりました。県令は【 イ 】でした。

高崎の分散した県庁舎では執務が困難であったため、前橋へ移る動きが出て、仮庁が旧前橋城内にできました。高崎では県庁移転に反対する運動が起こりました。この運動は1881（明治14）年に最も盛んになり、高崎の士族や住民が中心となって猛烈に運動を展開しました。

この頃は国会の開設を要求する【ウ】も盛んで、高崎の民権政社である有信社はその中核でした。

県庁を高崎に戻すための移庁事務所が、徳川忠長の墓がある【エ】に置かれ、熱心に運動を展開しました。しかし、前橋の仮庁は本庁となり県庁は高崎にもどってきませんでした。

- ア：(1) 軍隊 (2) 学校 (3) 病院 (4) 武家屋敷
- 〔正解 1〕

- イ：(1) おおどりゅうたろう 大音龍太郎 (2) おおこうちてるな 大河内輝声
(3) かとりもとひこ 楫取素彦 (4) やじまはちろう 矢島八郎
- 〔正解 3〕

- ウ：(1) 公武合体運動 (2) 自由民権運動
(3) 殖産興業運動 (4) 文明開化運動
- 〔正解 2〕

- エ：(1) 長年寺 (2) 興禪寺 (3) 大徳寺 (4) 大信寺
- 〔正解 4〕

●解説

熊谷県が分割され、もとの上野国を県域とする第二次群馬県が成立したのは、1876(明治9)年8月21日でした。県庁は高崎に置かれ、安国寺ほか数か所を使い県政を執ることになりました。

この時期、県政最大の課題は地租改正でした。県令楢取素彦は、分散した執務では地租改正は乗り切れないと考えたのです。前橋には再建した前橋城が、利根川学校だけが使っているという形で残っていました。

前橋の住民はさびれていた街の復活をかけて、生糸貿易で蓄えた資金を県庁移転のために寄付し、前橋の旧城を使ってもらうように熱心に運動しました。高崎は前橋ほどではありませんでした。楢取素彦は内務省とも連絡を取り、県庁を前橋に移しました。

高崎の住民は猛烈に県庁移転反対運動を展開しました。この運動は自由民権運動とも連動しておこなわれました。しかし、県庁は高崎に戻ってきませんでした。

問 34

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

2015（平成27）年4月に天皇皇后両陛下は、太平洋戦争の激戦地であったパラオ共和国をご訪問され、高崎歩兵第十五連隊がアメリカ軍と激戦を繰り広げた【ア】で「西太平洋戦没者の碑」に供花して平和への祈りを捧げられました。

太平洋戦争の末期、戦局が悪化し、1944（昭和19）年3月、高崎歩兵第十五連隊は満州から南方戦線へと派遣されました。高崎歩兵第十五連隊は、水戸歩兵第二連隊が守備していた【ア】に派遣され、島の南部を守備しました。9月にアメリカ軍は高崎歩兵第十五連隊が守る島南部の海岸から上陸し、激しい戦闘が行われました。戦闘は2か月に及び、島はアメリカ軍により焼き尽くされました。この戦闘で日本軍は約1万人、アメリカ軍は約1,700人の戦死者を出し、高崎歩兵第十五連隊が戦った海岸は、両軍の兵士の血で赤く染まったことから、アメリカ兵がオレンジビーチと呼んだといわれています。

アメリカ軍が上陸する前に日本軍が【イ】ことにより、戦後、パラオと日本の友好の絆が結ばれました。

- ア：（1）ペリリュー島 （2）ガラパゴス諸島
 （3）ルソン島 （4）サイパン島

〔正解 1〕

- イ：（1）映画「戦場に架ける橋」のモデルとなった鉄道橋を建設した
 （2）島民を全員避難させたので、激しい戦闘が行われたにも関わらず
 現地民間人は一人も死傷者がいなかった
 （3）音楽学校出身の隊員が兵士に合唱を教え、隊の規律を整えている
 姿に島民が感動した
 （4）本国旗は白地に赤の円、パラオ国旗は青地に黄色の円が描かれ、
 とても似ていることから日本軍は2つの国旗を掲揚していた

〔正解 2〕

●解説

日本軍は島民と共に戦闘に加わると申し出たのを断り、夜間に島を脱出させました。島を離れる島民を日本兵全員が見送ったということです。戦闘後、島に戻った人々はおびただしい日本兵の遺体に号泣し、ていねいに埋葬しました。

問 35

次の文章のうち、空欄に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

「高崎市歌」は、1961（昭和36）年に、市制（ ）を記念して公募で制定されました。作詞は当時20歳代の黒崎親厚^{くろさきちかあつ}、作曲は高校生の塚田佳男^{つかだよしお}の応募作品が選ばれました。

（1） 40周年 （2） 50周年 （3） 60周年 （4） 70周年

〔正解 3〕

●解説

高崎市歌は、市制60周年を記念して1961(昭和36)年に制定されました。公募作品のうち、20代の黒崎親厚が作詞、10代の塚田佳男が作曲した作品が選ばれました。塚田佳男は、伴奏ピアニストの第一人者として、第一線で活躍している声楽家から伴奏を依頼されたり、NHK紅白歌合戦に参加したりするなど、現在でも幅広く活躍しています。

市歌は、市のイベントで斉唱されたり、始業前の本庁舎で放送されたりして普及が図られています。

問 36

次の文章のうち、空欄に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

高崎市は、1985（昭和60）年に高崎市民憲章を定めてから、いきいき長寿社会憲章、たかさきこども憲章を定めました。

1973（昭和48）年に、身体障害者福祉モデル都市宣言を採択してから、高崎市交通安全都市宣言、核兵器廃絶平和都市宣言、ゆとり創造都市宣言、地球市民宣言、こども都市宣言、1995（平成7）年には人権尊重都市宣言と（ ）都市宣言の2つの宣言を採択しました。

- | | |
|-------------|------------|
| （1）危険ドラッグ撲滅 | （2）生涯学習 |
| （3）スポーツ健康 | （4）太陽光発電推進 |

〔正解 2〕

●解説

今年、1995（平成7）年に人権尊重都市宣言と生涯学習都市宣言が採択されてから20年目の記念の年にあたります。

生涯学習都市宣言は、次のような内容です。

「わたくしたち高崎市民は 生きとし生けるものが 共に生き 自然と人間と経済の調和する 文化の香り高い 豊かなまちづくりをめざします ひとりひとりが 自らの人間性を高めるため 生きがいのある人生を求めるため あすをひらく意欲に燃えて 生涯学びつづけるよう努めます ここに いつでも どこでも だれでも 楽しく学べるまち「生涯学習都市高崎」を宣言します。」

問 37

次のうち、高崎市の紋章と市の木、市の花の組み合わせとして正しいものはどれでしょうか。

	高崎市の紋章	市の木	市の花
(1)		ケヤキ イチョウ	サクラ ツツジ
(2)		ケヤキ カシ	ハクモクレン サクラ
(3)		ケヤキ クロマツ	ハクモクレン サクラ
(4)		カシ イチョウ	ツツジ バラ

〔正解 2〕

●解説

高崎市の紋章は、「高」の古代文字(𪛗)を上下に2組、組み合わせて図案化したもので、1920(大正9)年11月高崎市告示第89号により定められました。

市の木、市の花は、市の鳥(ウグイス)と共に、1985(昭和60)年、市制85周年を記念して決まりました。これは、各種団体代表者、学識経験者等より選出された市の木、花、鳥選考委員会をつくり、候補の木、花、鳥を公開して、市民の投票によって決められたものです。

ケヤキは市の保存木として指定された大木のうち、40%を占めており、カシは、屋敷林(防風林)などとして残る常緑樹です。サクラは、観音山や城址公園に代表され、ハクモクレンも高崎公園内に、樹齢約400年という古木があり群馬県指定天然記念物とされているほか、環状線にも街路樹として600本が植えられています。

問 38

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

2013（平成25）年から榛名山を舞台に繰り広げられる3つのスポーツイベントが始まり、全国から大勢の参加者が集まっています。

この3つのスポーツイベントは、榛名湖マラソン、榛名湖リゾート・トライアスロン in 群馬、【ア】です。

榛名湖マラソンは、榛名湖畔を周回する【イ】で、公益財団法人日本陸上競技連盟の公認コースとしては日本一の標高です。

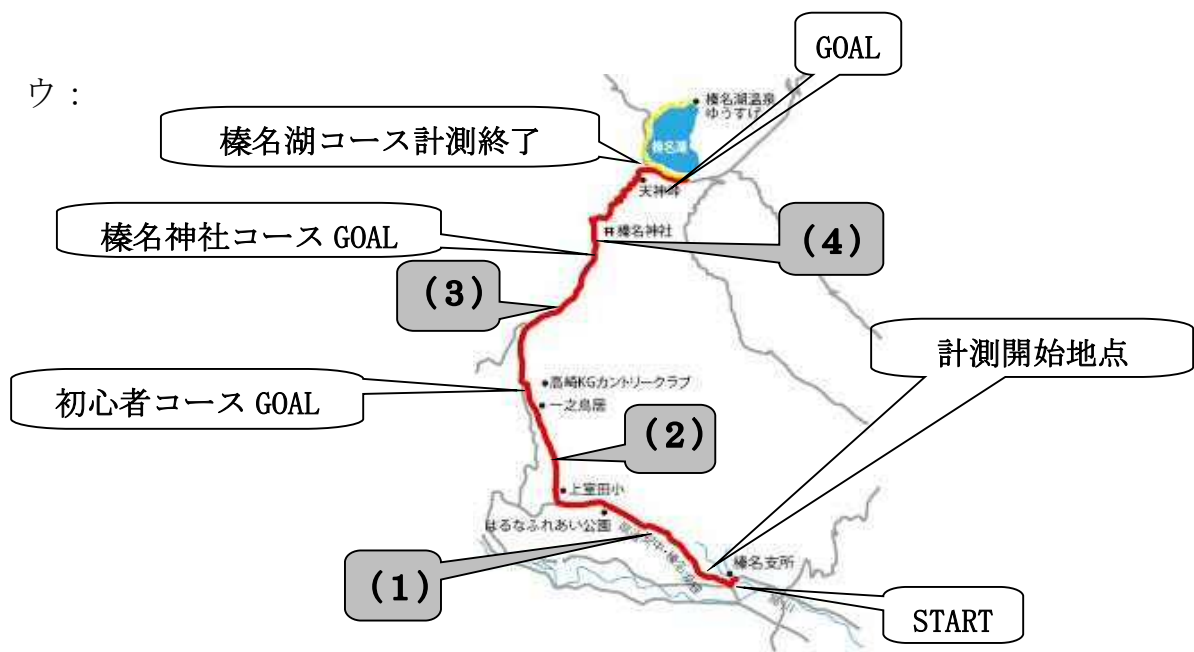
今年の【ア】は約6千人がエントリーし、この競技の大会としては国内2番目の開催規模となりました。この競技コースは、県道安中・榛名湖線を高崎市榛名支所の前から天神峠頂上までとなっていますが、坂路の勾配が最も急な場所は【ウ】の14パーセントとなっています。

- ア：（1）榛名山サイクリングツアー in 高崎
（2）榛名山ヒルクライム in 高崎
（3）ツール・ド・榛名山 in 高崎
（4）榛名山クロスカンントリー in 高崎

〔正解 2〕

- イ：（1）ハーフマラソン（21.0975キロメートル）
（2）フルマラソン（42.195キロメートル）
（3）ウルトラマラソン（50キロメートルと100キロメートル）
（4）駅伝競走

〔正解 2〕



〔正解 4〕

●解説

榛名山ヒルクライム i n 高崎は通称ハルヒルと呼ばれています。家族で気楽に参加できる6.7キロメートルの初心者コース、11.6キロメートルの榛名神社コース、16.1キロメートルの榛名湖コースがあります。大会初日は榛名湖周辺でタイムトライアルが行われます。

ハルヒルはレースの終盤に急勾配が待ち受ける過酷なコースです。終盤の坂路で体力が持たずに自転車を降りてしまう選手の姿もあり、地面に一度も足をつかずに走破することも選手の目標となっています。今年の榛名湖コース、エキスパート男子の優勝記録は38分43秒でした。

榛名湖マラソンの第1回目は群馬県内で開催される日本陸上連盟公認のフルマラソンとして23年ぶりとなりました。

問 39

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

現在、高崎市で最も面積が大きい工業団地は、1961（昭和36）年から計画された【 ア 】で、キンビールや第一屋製パンなどを誘致しました。【 ア 】の造成に伴って、倉賀野、下之城、矢中、下中居各町の一部を合わせ、新しい【 イ 】が1964（昭和39）年に誕生しました。【 イ 】は町内のほとんどが工場となっています。

高崎市が新たな産業拠点として【ウ】に計画を進めている「高崎市スマートインターチェンジ周辺工業団地（仮称）」は、【ア】を上回る面積となっています。この産業団地は、高速道路に直結し、高崎駅にも近いことから利便性の高い工業団地として多くの企業から進出の希望が寄せられています。また、この産業団地の中央にはＪＲ高崎駅東口を基点に邑楽郡板倉町に至る【エ】が東西方向に通り、群馬県内有数の工業地域である高崎市、伊勢崎市、太田市、邑楽郡各町を結んでいます。

- ア：(1) 八幡工業団地 (2) 大八木工業団地
(3) 倉賀野工業団地 (4) 下大島・町屋工業団地
- 〔正解 3〕

- イ：(1) 栗崎町 (2) 宮原町 (3) 台新田町 (4) 東中里町
[正解 2]

- ウ：(1) 高崎インターチェンジ周辺
(2) 高崎操車場跡地
(3) 高崎玉村スマートインターチェンジ周辺
(4) 高崎競馬場跡地
- 〔正解 3〕

- エ：(1) 東毛広域幹線道路（国道354号バイパス）
(2) 国道17号上武道路
(3) 国道245号甘楽吉井バイパス
(4) 県道27号高崎駒形線
- 〔正解 1〕

●解説

高崎スマートIC産業団地(仮称)は、高崎玉村スマートインターチェンジ周辺の約42ヘクタールで造成が進められ、既存の工業団地と併せて約64ヘクタールとなります。計画地は東毛広域幹線道(国道354バイパス)で高崎駅東口に直結し、高速道路と新幹線による交通利便性を備えた産業拠点として、市内外の多くの企業が進出を希望しています。

東毛広域幹線道路は、JR 高崎駅東口を起点とし、玉村町、伊勢崎市、太田市館林市を経て板倉町に至る延長58.61km の主要幹線道路です。国道17号上武道路は、熊谷市西別府と前橋市田口町、国道245号甘楽吉井バイパスは現在、整備中で高崎市吉井町本郷と甘楽町福島を結び、国道245号富岡バイパスと接続します。県道高崎駒形線には、関越自動車道・高崎インターチェンジが接続しています。

問 40

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬交響楽団は、今年創立【ア】周年を迎えました。群馬交響楽団は、群馬音楽センターを活動の拠点としており、元旦に始まるニューイヤーコンサート、オープニングコンサート、サマーコンサート、【イ】、高校音楽教室、依頼演奏会など様々な演奏会を開催しています。【イ】は年間で9回開催されますが、会員になると、年間または半期、決められた同じ座席（指定席）で演奏を聴くことができます。

ア：(1) 40 (2) 50 (3) 60 (4) 70
〔正解 4〕

イ：(1) 名曲コンサート (2) 音楽センター演奏会
(3) 定期演奏会 (4) 月例コンサート
〔正解 3〕

●解説

群馬交響楽団は、戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して高崎市民オーケストラとして創設され、後の2013年に「公益財団法人群馬交響楽団」に移行し、現在に至りました。

交響楽団の定期演奏会はこれまで培ってきた演奏技術の最高の演奏会として位置づけられます。

群馬交響楽団の演奏活動は他に東京公演、東毛定期、名曲コンサート、学生のためのコンサート、依頼コンサートなど本拠地の音楽センターでは、年間で30回程度となります。

なお、定期演奏会とは決まった期日を意味するのではなく、英語のSubscription(予約者向コンサート)を定期と訳したものです。

問 41

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

松尾芭蕉によって確立された俳諧文化は、上州一円に広がりを見せ、高崎宿田町に生れた【ア】は、1842（天保13）年、芭蕉百五十回忌にあたり【イ】石段下に「芭蕉花の雲句碑」を建てています。

ア：（1）^{こばやしいっさ}小林一茶 （2）^{しくらさいば}志倉西馬 （3）^{たからいきかく}宝井其角 （4）^{じっぺんしゃいっく}十辺舎一九
〔正解 2〕

イ：（1）清水寺（石原町） （2）常仙寺（並榎町）
（3）達磨寺（鼻高町） （4）八幡宮（山名町）
〔正解 1〕

●解説

高崎は交通や物流の拠点であったため、商人や富農層は財力を背景に様々な文化交流を持ちました。俳諧も18世紀後半から上州一円に広がりを見せ、『俳家百人衆』の半数近くは高崎市域の人が収録されています。その中に、九蔵町や田町の商家出身の生方雨什や志倉西馬がいました。西馬は1842（天保13）年、芭蕉百五十回忌にあたり石原村清水寺石段下に「芭蕉花の雲句碑」（観音山の 薨みやりつ はなの雲）を建て、記念句集『花の雲』2冊を出版しました。

問 42

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

明治維新により高崎藩知事に就任した【ア】は、全国にさがかけて【イ】を設立し、一方で、清国公使一行と筆談をするなど進取の精神に富んでいました。この日本と中国の人々が筆談を続けた珍しい記録は、およそ100冊にまとめられ、その内の6冊が『^{ていちゅうひつわ}丁丑筆話』と称され、頼政神社に所蔵されています。

- ア：(1) ^{いわくらともさだ}岩倉具定 (2) ^{おおこうちてるな}大河内輝声
(3) ^{おおどりゅうたろう}大音龍太郎 (4) ^{しもむらぜんたろう}下村善太郎

〔正解 2〕

- イ：(1) 医学館 (2) 英学校
(3) 洋式訓練所 (4) 和漢学校

〔正解 2〕

●解説

明治維新により高崎藩主から高崎藩知事に就任した大河内輝^声は、進取の精神に富んだ人でした。1870(明治3)年に全国にさがかけて英学校を設立した一方、清国駐日公使^{かじよしやう}何徐璋や公使館員と漢文で筆談をしています。

その記録は、頼政神社の宝物となっている『丁丑筆話』の他、『羅源帖』、『戊寅筆話』、『己卯筆話』など100冊ほどにまとめられ、日中交流や当事の世情を伝える貴重な史料となっています。

問 43

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

蘭学者杉田玄白すぎたげんぱくと前野良沢まえのりょうたくは、オランダ語訳の『ターヘル・アナトミア』を入手し、1771(明和8)年に翻訳に取り掛かりました。高崎藩医【ア】は、良沢の門下であった縁からこの大事業に参加し、1774(安永3)年に我が国初の西洋解剖書の訳本【イ】として出版されました。

- ア：(1) 大槻玄沢おおつきげんたく (2) 緒方洪庵おがたこうあん
 (3) 平賀源内ひらがげんない (4) 嶺春泰みねしゅんたい

〔正解 4〕

- イ：(1) 『和蘭薬譜』 (2) 『解体新書』
 (3) 『外台秘要』 (4) 『蘭学事始』

〔正解 2〕

●解説

杉田玄白、前野良沢、中川淳庵らは、人体の解剖を表したオランダ語訳『ターヘル・アナトミア』が優れた書であることから翻訳を試みました。高崎藩医の嶺春泰は、良沢の推薦で翻訳事業に参加し、辞書のない中、大変苦勞して『解体新書』が作られた話が玄白の『蘭学事始』に記されており、この書に春泰が熱心に取り組んでいたことが紹介されています。

問 44

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名山^{はるなさん}中野秣場^{なかのまぐさば}は、榛名山南東麓の相馬が原に広がる地域です。今では、高崎の北部にあたる^{はるなさん}ところが多く含まれています。榛名山中野秣場は、榛名山の【ア】によってできた広大な傾斜地です。ここは昔から、山麓八十数か村の農民が日常生活を送るため、自由に出入りして、馬や牛の餌となる秣^{まぐさ}や煮炊きに使う薪^{たきぎ}を取ることができる共有の【イ】地でした。ところが明治時代になり、地租改正が進むと【イ】が認められず、牧畜・植林・開拓以外に使ってはいけないことになりました。山麓の農民は、前と同じように日常生活を送ることができなくなり、非常に困りました。1880（明治13）年10月に、多数の農民が参加して、生活の維持を願って激しい反対運動を起こしたのが、榛名山中野秣場騒動です。指導者は、三ツ寺村（現高崎市三ツ寺町）の【ウ】でした。

ア：（１）火山活動 （２）風化活動 （３）地震活動 （４）陥没活動

〔正解 １〕

イ：（１）出会い （２）国有 （３）独占 （４）入会^{いりあい}

〔正解 ４〕

ウ：（１）長坂八郎^{ながさかはちろう} （２）真塩紋弥^{ましおもんや}
 （３）小島文次^{こじまぶんじ}（冶）郎^{ろう} （４）山村暮鳥^{やまむらぼちょう}

〔正解 ２〕

●解説

榛名山中野秣場は、榛名山の南東に広がる約3,100ヘクタールもの広大な土地です。山麓の八十数か村が^{いりあいけん}入会権を持ち、自由に出入りし草を刈ったり、薪をとったりできました。ところが地租改正が進むと、共有は認められず、植林するか、牧場にするか、開拓するかにしろなさいということが決められました。

農民は農業と生活を維持するために、日常やっていることができず、大変困りました。沢山の農民が集まって抗議活動を起こし、大きな事件となりました。群馬県庁は緊迫感に包まれ、いざというときは軍隊の出動を考えるほどでした。これが榛名山中野秣場騒動です。

問 45

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1860（安政7）年1月に、【ア】批准のために正使新見正興^{しん みまさおき}の目付として小栗忠順^{おぐりただまさ}が渡米しました。随員9人のうち唯一農民で同行したのが、小栗の領地であった【イ】名主の佐藤藤七^{さととうしち}でした。佐藤は、その経験を「渡海日記」に著しました。

- ア：（１）日米安全保障条約 （２）日米修好通商条約
 （３）日米通商航海条約 （４）日米和親条約

〔正解 2〕

- イ：（１）緑野郡小林村 （２）群馬郡権田村
 （３）群馬郡下斉田村 （４）群馬郡与六分村

〔正解 2〕

●解説

1860(安政7)年、日米修好通商条約批准のため、アメリカ海軍のポーハタン号に乗船した正使の新見豊前守正興、副使村垣淡路守範正の目付として、小栗豊後守忠順が同行しました。

遣米使節一行は77人でしたが、小栗忠順の従者は9人でした。そのうち、上野国権田村名主の佐藤藤七だけが農民でした。小栗忠順の領地である権田村の割元名主をつとめた佐藤勘兵衛と小栗氏との関わりが深かったので、その子どもの藤七を遣米使節の従者にしたと考えられます。佐藤は「渡海日記」「諸用留」を遺しています。

問 46

次の文章のうち、空欄に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

現在の倉渚町岩氷出身の塚越芳太郎は、1888（明治21）年に上京して『国民之友』を発行した民友社などで働いていました。1906（同39）年に衆議院議員であり、後に「憲政の神様」とまで讃えられた政党政治家で当時東京市長であった（ ）に要請されて、現在まで続く『東京市史稿』の編纂を始めました。

- (1) いぬかい 犬養 つよし 毅 (2) おおくましげのぶ 大隈重信 (3) おざきゆきお 尾崎行雄 (4) はら 原 たかし 敬

〔正解 3〕

●解説

1864(元治元)年、岩氷村に生まれた塚越芳太郎(号は停春)は、一時小学校教員となり、上毛青年連合会に参加、廃娼運動に参加しましたが、官憲の干渉を受けて上京し、1890(明治23)年、徳富蘇峰の『国民之友』などの編集に従事しました。さらに、東京市長尾崎行雄に懇望されて東京市史編さん員主任嘱託となり、東京市の歴史書の『東京市史稿』を提案し、1901年(明治34)に編纂を決定してから従事しました。同書の編纂は現在まで継続し、11篇178巻が刊行されています。

問 47

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

幕末になるとロシアなどの外国船が頻繁に蝦夷近海に現われるようになり、幕府はその防衛対策として【ア】藩に築城を命じました。【ア】藩は、その縄張り（設計）を幕末の三大兵学者として高名を得ていた高崎藩士である【イ】を招き、「最後の日本式近世城郭」と言われている【ア】城を築きました。

ア：（１）秋田 （２）鶴岡 （３）箱館（函館） （４）松前
〔正解 ４〕

イ：（１）市川一学^{いちかわいちがく} （２）榎本武揚^{えのもとたけあき} （３）近藤重蔵^{こんどうじゅうぞう} （４）間宮林蔵^{まみやりんぞう}
〔正解 １〕

●解説

高崎藩士市川一学は長沼流兵学を修め、平山子龍、清水赤城（並榎村出身）と共に幕末の三大兵学者と称されていました。

蝦夷地の松前藩主松前崇宏は、幕府から城郭を構えることを命じられ、その縄張り^{てるとし}を著名な一学に任せるべく高崎藩主松平輝聴に要請しました。高齢だった一学は子息の十郎と共に蝦夷地へ赴き、1850（嘉永3）年に着工し、4年後に完成させたのが松前城です。

松前城は和式築城の最後の城郭で、一学はこの功により将軍家定に謁見し、後に家督を十郎に譲り、高崎藩の職を辞して江戸で兵学塾を開いています。

問 48

1920（大正9）年、ウインブルドン選手権に日本人選手として初めて出場し、チャレンジラウンド決勝（現在の準決勝）まで勝ち進んだほか、男子国別対抗戦「デビスカップ」などでも活躍し、1921（大正10）年には世界ランク4位にランキングされた現在の箕郷町西明屋出身のテニスプレーヤーは、次のうち誰でしょうか。

- (1) ^{さとうじろう}佐藤次郎 (2) ^{くまがいかずや}熊谷一弥 (3) ^{しみずぜんぞう}清水善造 (4) ^{あいはらのぶゆき}相原信行
〔正解 3〕

●解説

清水善造は、1891（明治24）年、群馬郡箕輪町西明屋に生まれ、高崎中学校（現在の高崎高等学校）で軟式テニスと出会います。進学した東京高等商業学校（現在の一橋大学）でもテニスを続け、卒業後、三井物産に入社しました。

三井物産に入社後、勤務を命ぜられたインドのカルカッタ支店で初めて硬式テニスを知り、毎年カルカッタで行われるベンガル州選手権で5連覇したほか、商用で赴いたブエノスアイレス（アルゼンチン）で南米選手権に出場し優勝するなどしました。

1920（大正9）年に、長期休暇を利用してイギリスに渡った清水は、日本人として初めてとなるウインブルドン選手権出場を果たし、チャレンジラウンド決勝（現在の準決勝）にまで勝ち進みました。翌年のウインブルドンでも準決勝まで進み、国別対抗戦「デビスカップ」にも日本チームとして初出場し準優勝しました。これらの活躍で、1921（大正10）年、清水は、世界ランク4位にランキングされています。

選手生活引退後も、デビスカップ日本代表監督に就任するなど、後進の育成に努めました。

問 49

今年は、村上鬼城^{むらかみ きじょう}生誕150年の年です。村上鬼城が、明治十年代の若い頃していたことは、次のうちどれでしょうか。

- (1) 自由民権運動に共鳴し、政談演説会で演説しました。演説原稿が残っています。
- (2) 開通したばかりの鉄道会社に勤務し、近代化の先駆けとなっていました。
- (3) 裁判所に勤務し、裁判官をしていました。
- (4) 耳鼻咽喉科の医師として、多くの患者を治療していました。

〔正解 1〕

●解説

村上鬼城は、若い頃、当時盛んであった自由民権運動に活躍していました。
新しい時代を築きたいと考えていた政治青年でした。

鬼城の政談演説原稿には本文の脇に、「大声」とか「中声」とか書かれています。
法輪寺などで演説しました。鬼城が18、9歳の頃でした。

高崎学検定委員会